

瀬戸内海の昔と今 - 暮らしの移り変わりから将来を考える -

趣 旨

瀬戸内海は、高い生産性を中心とした多様な機能のゆえに周りにすむ人々と深い関わりを持っているが、環境や社会構造の変化により、その関わりのある方もまた変化を続けてきた。このような過去から現在の変化を見つめつつ将来を考えることは、瀬戸内海研究フォーラムにおける持続的なテーマである。本フォーラムの第1セッションでは、これまでのフォーラムではあまり取り上げられてこなかった瀬戸内海の古代に光をあて、環境やその変動に対して人々がどのように対応してきたかを議論する。第2セッションでは、過疎化や水産業の衰退等の様々な問題が生起している海村地域において果敢に地域づくりに邁進している女性の皆さんに、その活動実績を紹介してもらいながら、今後の産業振興や地域活性化のあり方について検討する。最終セッションでは、近年、西瀬戸海域を中心に猛威を奮い、養殖業に脅威となっているカレニア・ミキモイ赤潮に焦点を絞り、その原因や魚類の斃死機構、対策などについて深く掘り下げる。



日 時 平成 28 年 9 月 8 日 (木) 13:00~18:30、9 月 9 日 (金) 9:30~15:30

会 場 愛媛大学(南加記念ホール、大学会館 2 階 レストランリーセス内)

愛媛県松山市文京町 3

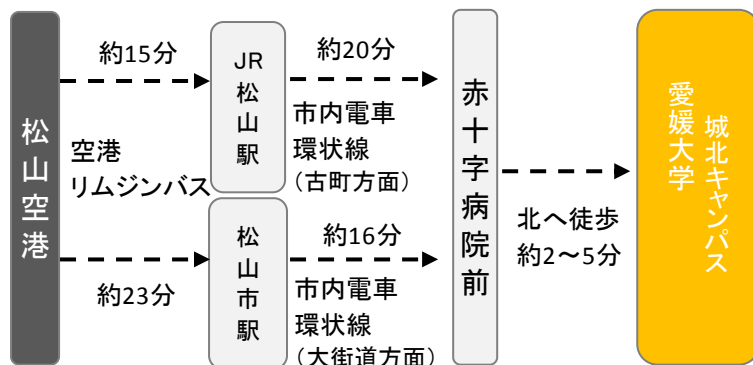
URL : <https://www.ehime-u.ac.jp/overview/access/johoku/>

懇親会 : 大学会館 2 階 レストランリーセス内

参加料 無 料 (定員 : 200 人)
ただし懇親会参加の場合、3,500 円

お申込・お問合せ先

特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議事務局
651-0073 兵庫県神戸市中央区脇浜海岸通 1-5-2
人と防災未来センター東館 5 階
(公社)瀬戸内海環境保全協会 内
TEL : 078-241-7720 FAX : 078-241-7730
URL : <http://www.seto.or.jp/kenkyu/>
E-mail : web@seto.or.jp



主催 : 特定非営利活動法人瀬戸内海研究会議 共催 : 瀬戸内海環境保全知事・市長会議、愛媛大学
協賛 : (公社)瀬戸内海環境保全協会 後援 : 環境省、愛媛県、松山市

詳しくは裏面をご覧ください。

9月8日(木) 13:00~18:30

開会 13:00~13:25

趣旨説明

運営委員長：武岡 英隆

愛媛大学南予水産研究センター長

第1セッション 13:30~15:30

瀬戸内海の環境と古代社会の生業・交通

コーディネーター：村上 恭通

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター長

・人と砂丘の葛藤史ー山陰地方を中心にー

河合 章行

(公財)鳥取県教育文化財団調査室文化財主事

・瀬戸内海沿岸地域の環境変化と人々の適応

植林 啓介

愛媛大学東アジア古代鉄文化研究センター准教授

・原始・古代における瀬戸内航路

谷若 倫郎

愛媛県教育委員会文化財保護課文化財専門監

第2セッション 15:45~17:45

海村地域における女性目線の「まちづくり」

～地域での「価値共創」の本質に迫る～

コーディネーター：若林 良和

愛媛大学南予水産研究センター副センター長

/社会共創学部教授

・しまなみの暮らしとサイクルツーリズム

山本 優子 特定非営利活動法人シクロツーリズム

しまなみ代表理事

・漁協女性部の活動と起業化への取り組み

山内 満子 愛媛大学地域再生マネージャー・水産

イノベーター、Seafood Meister

・地場産水産物の普及と流通販売

安部 有里子 有限会社エスペランス代表取締役

瀬戸内海研究会議総会 18:00~18:30

懇親会 18:30~20:00

・会場：愛媛大学 大学会館2階 レストランリーセス内

・参加料：3,500円

9月9日(金) 9:30~15:30

第3セッション 9:30~12:00

環境保全・創造に関する研究・活動報告

ポスター発表(ハイブリッド方式)

コーディネーター：森本 昭彦

愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授

・展示期間：2日間

9月8日(木) 13:00~18:30

9月9日(金) 9:30~15:30

・展示場所：愛媛大学 大学会館 レストランリーセス内

第4セッション 13:00~15:00

宇和海における *Karenia mikimotoi* 赤潮の現状と対策

コーディネーター：鬼塚 剛

水産研究センター瀬戸内海区水産研究所

有害・有毒藻類グループ長

・*K.mikimotoi* の生理・生態特性

紫加田 知幸

水産研究センター瀬戸内海区水産研究所研究員

・宇和海における *K.mikimotoi* の発生の特徴と被害状況

久米 洋

愛媛県農林水産研究所 水産研究センター主任研究員

・宇和海の海洋環境と *K.mikimotoi* 赤潮の関係

郭 新宇

愛媛大学沿岸環境科学研究センター教授

・*K.mikimotoi* の早期検出および防除技術

太田 耕平

愛媛大学南予水産研究センター准教授

総括・ポスター賞表彰式・閉会 15:10~15:30

瀬戸内海研究フォーラム in 愛媛

参加申込書

ご記入のうえ瀬戸内海研究会議事務局(FAX:078-241-7730 / E-mail:web@seto.or.jp)に8月31日(水)までに
お申込下さい。(参加証は発行しませんので、お申込みのうえ当日会場にお越し下さい。)

氏名	所属	住所	TEL / FAX	参加にチェックしてください。
		〒	TEL:	・9月8日(木)
			FAX:	第1 第2
				懇親会(3,500円)
				・9月9日(金)
				第3 第4